

問

物価・光熱費高騰に対応するため、市内企業への経済的支援を実施する考えはあるか。

答

市単独での対策費用は計上していないが、市内事業所の状況や物価高騰等の情勢を踏まえ、国・県の動向を注視しながら検討する。



録画配信はこちらから

ICT教育について

問

ICT教育で見えてきた課題と得られた成果、今後の展望をどのように捉えているか。

答

昨年秋季県が実施した学習状況調査によると、市内の小中学校で学習端末をほぼ毎日利用していると回答した割合は、約68%と県平均の約38%を大きく上回っている。

思考力や判断力の向上のほか、多角的な視点の情報からの学びにより理解力の向上にもつながっている。今後

八郎太郎三湖伝説事業について

問

甲岳台展望台の整備について、今後の事業を実施しなければならぬ理由と、その費用対効果をどのように考えているか。

答

三湖伝説を生かした広域連携、広域観光を進めるための重要な素材と考え、整備に着手した。収益施設を持たないため、費用対効果を示すことは困難だが、十和田湖を望む本市唯一の展望台へのアクセス道整備は大きな意義があると考えている。

は、従来の「情報伝達型授業」から、積極的意見や考えを伝える「双方向型授業」への転換を進める。

質問した項目

- 物価・光熱費高騰への対応について
- ICT教育について
- 元気で健やかなまちづくりについて
- 災害に対する体制について
- 八郎太郎三湖伝説事業について

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問

水道水の安定供給のため、上水道の更新計画はどのように進めているか。

答

「鹿角市水道事業ビジョン」に基づき、施設の老朽度や事業への影響、緊急性や必要性などを総合的に判断し、計画的に更新を進めている。



録画配信はこちらから

ふるさと納税について

問

鹿角を訪れた人が利用できる「ふるさと納税自販機」を道の駅や宿泊施設に設置する考えはないか。

答

その場で返礼品を受け取る手軽さから導入する自治体が増えているが、設置費用が高額で、返礼品も限定されるため、現在導入の予定はない。

ふるさと・キャリア教育について

問

小学校から職業について考えるための教育環境をどのように整備していくのか。

答

「夢探求プロジェクト」を実施し、児童・生徒が地域に根差した活動体験を通じて、将来に生きる力を育んでいる。

問

電気料金に対する補助金について

答

省エネ設備等更新支援補助金の上限額をアップすることは検討できないか。

問

これまで国の交付金を活用していたが、今後は市の単独事業となるため補助金は縮小となる。国や県の補助とも併用させて、省エネ機器更新を後押しする。